家庭教育学級事業

自治体名

岩手県二戸市

学校数

小学校　8校　中学校　4校

震災後の地域の状況・仮設住宅数

当市は内陸北部に位置しており、人的被害はなかったが、地震により建物2棟が全壊し、市道欠壊等の被害があった。発災直後から保健師等の職員を沿岸部に派遣するとともに、火葬の受入を実施した。　仮設住宅なし

～メディアコントロールでしっかり睡眠～

取組概要

実施形態（該当に○）	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	（連携している団体等・大学の名称）
	○			
実施主体・場所等	**コーディネーター数**	**ボランティア延べ人数**	**年間実施日数（回数）**	**活動場所**
			1	仁左平小学校実践区

活動内容

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
学校と地域の協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
家庭教育・保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
	○				
地域課題に応じた学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他

期　日：平成 25 年7月2日（火）

参加者：児童 10 人、保護者 14 人、教職員9人　計 33 人

目　標：学年が進むにつれて寝る時間が遅くなり、生活リズムが乱れがちになってくることが課題としてあげられ、その原因の一つがメディアとのかかわり方であることから、学力アップ・健康増進をめざして、睡眠の大切さについて学び、メディアコントロールをして睡眠を上手にとることに取り組んだ。

内　容：二戸病院小児科長の細川尊英先生を講師に招き、「睡眠の大切さとメディアコントロール」についての話を聴き、就寝時刻と学力、成長ホルモンと就寝時刻の関係、メディアコントロールのための家庭でのルール作りの大切さなどについて学んだ。またこの他にも本実践区では「わが家の健康ステップアップ作戦」と称し、「食事中はメディアなし」「9時以降はメディアなし」など6つのコースから、各家庭でそれぞれの実態に合わせて挑戦するコースを話し合い、メディアコントロールに取り組んだ。

取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

震災津波による被災は無かったが、同年の年末年始の大雪による倒木に伴う数日間の停電等の被害があった。人的被害等は無かったが、極寒の状況での停電で命の危険を感じた人は少なくはない。

そのような状況の中で、地域住民の協力等により暖を取り、難を逃れた体験から、地域コミュニティの大切さを改めて感じた。

◇住民等からの要望・必要な取組

ＰＴＡの研修会など、地域住民が年代を問わず集まり、学びあう機会を設けることから、地域コミュニティづくりの糸口を見つけたい。

体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

・教育振興運動仁左平小学校実践区　～　事業の周知・実施
・仁左平小学校　～　会場の確保
・県立病院　～　講師の派遣

◇取組の充実や課題解決のための工夫

・子供たちの課題となっている事柄を吟味し、家庭教育学級の内容を検討した。
・研修会は保護者だけでなく、学校の教職員や子供たちも参加し、一緒になって課題の解決に向けた研修を行った。

成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

・毎年定期的に家庭教育学級を開催することによって、地域課題解決の手立ての方向性を探ることができている。
・課題に対して、学校と家庭、子供が同じ意識を持って取り組むことができている。

◇課題や今後の展望

学校、こども、親、行政が関わっての研修会を開催することができたが、ここに地域住民も参画していただくことにより、有事の場合に機能するコミュニティになってくるので、今後地域の方々にも研修会に参加してもらえるような手立てを検討したい。